

音楽科学習指導案

1 日 時 平成 年 月 日 () ~ 月 日 () 全5時間

2 学年・組 第 学年 組 (名)

3 場 所 年 組教室・多目的室

4 題 材 『変そう』を見つけよう！ことで音楽づくり」

5 題材の目標

「さくら変奏曲」の曲の構造に気を付けて聴き、それらや即興的な表現を生かし反復や変化のある音楽をつくる活動を通して、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。

6 本題材と学習指導要領のかかわり

・指導事項 A表現(3)音楽づくり ア・イ, B鑑賞(1)イ
〔共通事項〕 ア(ア)音色・リズム・旋律・速度 (イ)反復・変化

7 題材設定の意図

(1) 題材について

本題材では、〔共通事項〕にある音楽を形づくっている要素を要とし、鑑賞と音楽づくりの関連を重視した学習を進める。具体的には、「さくら変奏曲」を曲の構造に気を付けて聴いた後、箏を使い様々な発想をもって即興的に表現する学習を経て、音楽の仕組みを生かし思いや意図をもって音楽をつくる活動へ、その後、再度「さくら変奏曲」を鑑賞し、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くという関連を図る。

第1時の鑑賞の活動では、箏による「さくらさくら」の独奏を聴いたり、はじめの旋律を弾いてみたりし、箏の音色や奏法にふれる。その後、「さくら変奏曲」の変奏1の部分の聴き、「さくらさくら」の独奏と聴き比べることで、反復や旋律・速度の変化に気付くことができるようにしたい。そして、各変奏を聴いていく中で、音楽を形づくっている要素の関わり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くことができるようにしたい。

第2時から第4時までの音楽づくりの活動では、鑑賞の活動で学んだ、音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かし、箏を使って音楽をつくる。このうち、第2時では、学習指導要領、音楽づくりの指導事項アに相当する、音楽づくりの素地となる「即興的に表現する学習」を取り入れる。自由に弦をはじいたり、全ての弦をすべらせたり、左手で弦を押さえたりして、いろいろ試すことで、一つの楽器でも音の高さや演奏の仕方を変えることによって響き方が異なることに気付くことができるようにする。そして、自分の工夫した音を全員で模倣したり、工夫した音を使って友だちと音で会話したりすることで、音をつくる面白さや楽しさに気付くことができるようにしたい。第3時・第4時では、簡単な旋律をつくり、それをグループでつないだり、音を重ね合わせたりして音楽をつくり、発表する。このとき、第2時における、即興的な表現で一人ひとりが工夫した音を活用しながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくることができるようにしたい。

第5時は、音楽づくりで培った力を生かし、再び鑑賞する活動を行う。十分に音楽づくりの経験をした後に聴くことで、はじめの鑑賞のときと比べ、箏の音色の美しさ、反復、リズム・旋律・速度の変化をより聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さをより感じ取ることができるように考える。

このように、鑑賞と音楽づくりを関連付けて学習を進めることで、主体的・創造的に取り組む力の育成を目指したい。また、発達の段階に応じた学習の積み重ねが、音楽と生活との関わりに関心をもち、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことにつながると考える。

(2) 題材の構造図

『変そう』を見つけよう！ことで音楽づくり

題材の目標：「さくら変奏曲」の曲の構造に気を付けて聴き、それらや即興的な表現を生かし反復や変化のある音楽をつくる活動を通して、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。(全5時間)

…題材を通して指導する、〔共通事項〕に示された音楽を形づくっている要素

「さくら変奏曲」の『変そう』を見つけよう。

第1時

音色

リズム

旋律

速度

反復

変化

鑑賞1H

<感じたこと>

<気付いたこと>

*変奏1

- ・「さくらさくら」と比べてにぎやか。
- ・桜がずっと舞い散っているみたい。
- ・楽器の数や人数が増えたのかな。
- ・リズムが細かくなったよ。音が途切れないね。

*変奏3

- ・しぶい感じ。
- ・追いかけてっこしているみたい。
- ・低い音(音色)がずっと続くよ。
- ・同じ旋律がくり返されているよ。

(他, 変奏5)

ことの音色にもっとふれたいな。

～鑑賞の活動で学んだことを生かして、音楽づくりの活動へ～

○即興的に表現する学習

ことのすてきな音を見つけよう。

第2時

音楽づくり1H

- ・弦のはじき方や押さえ方で音色が変わって面白いね。
- ・全部の弦をすべらせると日本らしい音楽になるね。
- ・友だちと音で会話してみよう。
- ・すてきな音を見つけたよ。
- ・速度を変えると感じが変わるよ。

自分たちで音楽をつくることができそうだね。

●まとまりのある音楽をつくる学習

見つけた音を使って音楽をつくろう。

第3時

第4時

音楽づくり2H

③三人組で音楽をつくる。 ④終わり方を考え、発表する。

- ・みんなで見つけた音色の重ね方を工夫しよう。
- ・二人が会話しているみたいにしてみよう。
- ・終わりは全員でいっせいに音を出して終わろう。
- ・〇〇くんのつくった旋律を反復しよう。
- ・途中で速度を変えてみるとどうなるかな。

自分たちで見つけた音楽の仕組みを生かして、音楽をつくることができたね。

～音楽づくりで培った力を生かして、再び鑑賞の活動へ～

「さくら変奏曲」の『変そう』を見つけ、曲の面白さを紹介しよう。

第5時

鑑賞1H

- ・ことの音色がはっきりと聴き取れるようになったよ。
- ・変奏3は、弦をはじく音が聴こえて花が散った感じがするから好きだな。
- ・どの変奏部分にも、反復や、旋律・速度の変化などがあって面白いね。

はじめの鑑賞のときより、「さくら変奏曲」のよさや面白さに気付くことができたよ。

8 教材について

「さくら変奏曲」 宮城道雄 作曲

1923（大正 12）年作曲。箏二面と十七絃で演奏される箏の三重奏曲である。日本古謡「さくらさくら」の旋律を主題とする変奏曲になっている。八つの段から構成されており、おおむね平調子に調弦された第一箏が変奏を受け持ち、雲井調子に調弦された第二箏が主題を、低音の十七絃は和音的な動きを担当している。三段（変奏3）はスクイ爪による変奏、五段（変奏5）では十七絃が主題を、六段（変奏6）はワルツ風の3拍子など、西洋音楽の変奏曲の形式を箏で試みている。箏の音色の美しさ、反復、リズム・旋律・速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りやすい教材である。

9 題材の評価規準及び評価の視点

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能	エ 鑑賞の能力
音楽入り	○	○	○	
鑑賞	○			○
題材の評価規準	曲想とその変化、音楽の仕組みに興味・関心を持ち、鑑賞の学習や即興的に表現する学習に進んで取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音を音楽に構成していくことを工夫し、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。	音楽の仕組みを生かすなどの基礎的な技能を身に付けて、音を音楽に構成している。	音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、曲想とその変化を感じ取ったり、楽曲の構造に気を付けたり、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりして、味わって聴いている。
評価の視点	①楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 ②鑑賞の活動で学んだ、箏の響きや表現の表し方に興味・関心を持ち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。	①鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、簡単な旋律をつないだり、音を重ね合わせたりして工夫し、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。	①鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、反復・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。	①音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。 ②鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気づき、味わって聴いている。

10 指導と評価の計画（全5時間）

	○研究テーマにせまるための 主な学習活動	■ 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
第1次 1	<p><ねらい> 「さくら変奏曲」の楽曲の構造に気を付けて聴くことができるようにする。(鑑賞：第1時)</p> <p><教材> 「さくら変奏曲」</p> <p>[共通事項] ア (ア) 音色・リズム・旋律・速度 (イ) 反復・変化</p>		
1	<p>○「さくら変奏曲」を鑑賞し、楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く。</p>	<p>*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、そのよさを感じ取ることができるようにする。</p>	<p>【アー①】 楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。(聴いている様子の観察・発言)</p> <p>【エー①】 音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。(聴いている様子の観察・発言・学習カード)</p>
第2次 3	<p><ねらい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の活動で学んだ、箏の響きや表現の表し方に興味・関心を持ち、即興的な表現に進んで取り組むことができるようにする。(即興的に表現する学習：第2時) ・鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだことを生かし、変化のある音楽をつくることができるようにする。(まとまりのある音楽をつくる学習：第3時、第4時) <p><教材> (参考教材)「さくら変奏曲」</p> <p>[共通事項] ア (ア) 音色・リズム・旋律・速度 (イ) 反復・変化</p>		
2	<p>○箏を使って、即興的に音をつくる。</p>	<p>*奏法による音色の違い、反復、リズム・旋律・速度の変化などを、箏を使っているいろと試すことで、音をつくる面白さや楽しさに気付くことができるようにする。</p>	<p>【アー②】 鑑賞の活動で学んだ、箏の響きや表現の表し方に興味・関心を持ち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。(つくっている様子の観察・発言・学習カード)</p>
3	<p>○前時で見つけた音を生かしながら、グループでつないだり、音を重ね合わせたりして、音楽をつくる。</p>	<p>*鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、グループでどのような工夫をしたらよいか考え、音楽をつくることができるようにする。</p>	<p>【イー①】 鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、簡単な旋律をつないだり、音を重ね合わせたりして工夫し、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。</p>

4	○終わり方を考え、音楽をつくり発表する。	*鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、反復・変化などの音楽の仕組みを生かすことにより、グループで音楽をつくることができるようにする。	(つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード) 【ウー①】 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、反復・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。 (つくっている様子の観察・演奏の聴取・学習カード)
第3次 1	<p><ねらい> 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴くことができるようにする。(鑑賞：第5時)</p> <p><教材> 「さくら変奏曲」 [共通事項] ア (ア) 音色・リズム・旋律・速度 (イ) 反復・変化</p>	<p>*何回か曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である音色・リズム・旋律・速度・反復・変化に気付くことができるようにする。</p> <p>*①使われている楽器, ②音楽を形づくっている要素, ③感じたことや想像したことなどをもとに紹介文を書くことにより、曲の特徴や演奏のよさを伝えることができるようにする。</p>	【エー②】 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・紹介文)
5	<p>○もう一度「さくら変奏曲」を聴き、曲の面白さを紹介する。</p> <p>(紹介文の例) 「さくら変奏曲」は、三つの箏で演奏されます。変奏1の部分は、「さくらさくら」と比べてにぎやかで、リズムが細かいです。私は変奏5の部分が好きです。なぜかという、速度がゆっくりで落ち着いた感じがするからです。また、全ての弦をすべらせて弾いているので、桜が少しずつ散っている感じがします。箏の日本らしい音色や、旋律・速度の変化を楽しんで聴いてください。</p>	<p>*何回か曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である音色・リズム・旋律・速度・反復・変化に気付くことができるようにする。</p> <p>*①使われている楽器, ②音楽を形づくっている要素, ③感じたことや想像したことなどをもとに紹介文を書くことにより、曲の特徴や演奏のよさを伝えることができるようにする。</p>	【エー②】 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・紹介文)

1.1 本時の学習（1／5時）

- (1) 目標
- ・ 楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組む。
 - ・ 音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴く。

(2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 「さくらさくら」の独奏を聴き，一部を箏で演奏する。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*既習曲である「さくらさくら」の独奏を聴いたり，一部を演奏したりすることで，箏の音色に親しむことができるようにする。</p> <p>*題材の流れを提示することにより，学習の見通しをもつことができるようにする。</p>	
<p>「さくら変奏曲」の『変そう』を見つけよう。</p>		
<p>2 変奏1の部分を聴いて，感じたことや気付いたことを交流する。 「どのような感じがしましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「さくらさくら」と比べてにぎやかな感じがする。 ・ 桜がずっと舞い散っているみたい。 <p>「音楽のどこからそう感じましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の数や人数が増えたのかな。 ・ リズムが細かくなったよ。音が途切れないね。 	<p>*感じたことを話し合い，音楽のどこからそう感じたのかをもう一度聴き返すことにより，音楽を形づくっている要素と関連させることができるようにする。</p> <p>○感じたことや気付いたことを，分けて板書する。</p> <p>○〔共通事項〕カード（音楽を形づくっている要素が書かれたカード）を提示する。</p>	<p>【アー①】</p> <p>楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。 (聴いている様子の観察・発言)</p>
<p>3 いくつかの変奏部分を聴いて交流する。(変奏3，変奏5) 「変奏3の部分を聴いてどのような感じがしましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しぶい感じがする。 ・ 追いかけてっこしているみたい。 <p>「音楽のどこからそう感じましたか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低い音(音色)がずっと続くよ。 ・ 同じ旋律がくり返されているよ。 <p>(反復)</p>	<p>*聴くポイントを変えて何回も曲を聴くことにより，音楽を形づくっている要素である音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り，そのよさを感じ取ることができるようにする。</p>	<p>【エー①】</p> <p>音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り，それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら，音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。</p>
<p>4 次時の予告をする。 「次時からは，箏を使って音楽をつくっていきましょう。」</p>	<p>○学習したことを，学習カードに書く。</p> <p>○次時から，箏を使って音楽をつくることを予告する。</p>	<p>(発言・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際

【音楽への関心・意欲・態度】(1/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ア-①】 楽曲全体にわたる曲想とその変化を感じ取って聴く学習に進んで取り組もうとしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・曲想とその変化を感じ取って聴くことができにくい子どもには、板書や友だちの発言を参考にしたり、どの変奏が好きかを考えたりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・変奏の各部分をとらえる活動に集中して取り組み、感じたことや気付いたことを積極的に発言している。
○具体的な評価方法 ・楽曲全体にわたる曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く学習に進んで取り組んでいるかどうかを、聴いている様子の観察・発言から見取る。	

【鑑賞の能力】(1/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【エ-①】 音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・音楽を形づくっている要素を聴き取りにくい子どもには、〔共通事項〕カードの掲示を見て、どれにあてはまるかを考えるように助言する。 ・学習カードに書くことができにくい子どもには、板書を参考にしたり、音楽を形づくっている要素を用いて書いたりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・変奏の各部分において、音色の違いや旋律の反復、速度の変化など、音楽を形づくっている要素に着目し、楽曲の構造を的確にとらえている。
○具体的な評価方法 ・音楽を形づくっている要素の関わり合いによってつくられる楽曲の構造に気を付けて聴いているかどうかを、発言・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画

「さくら変奏曲」の『変そう』を見つけよう。

「さくら 変奏曲」 宮城道雄 作曲		感じたこと	気付いたこと		
	変奏1	「さくらさくら」と 比べてにぎやか	楽器が増える 主旋律三つ、 重ね合せている	3つの音を重ねる A _____ B _____ C _____	箏の写真 題材の学習の流れ 鑑賞 音楽 づくり
	変奏3	しずい感じ	低い音がずっと続く	反復+主旋律+かざり A - - - - B _____ C - - - - -	
	変奏5	ゆったりした感じ	ゆっくり	主旋律+2人で会話 A - - B - - C _____	

(5) 活動の場 (教室)

黒 板

机, いす

1 1 本時の学習 (2 / 5 時)

(1) 目標 箏の響きや表現の表し方に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組む。

(2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 本時のめあての確認をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">箏のすてきな音を見つけよう。</div> <p>2 即興的な表現を楽しむ。 「箏を自由に弾いてみて、すてきな音を見つけましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本らしい旋律だね。 ・同じ弦でも、場所によって音が違うよ。 ・全ての弦をすべらせてみよう。 ・左手で弦を押すと、音の高さが変わったよ。 <p>3 見つけた音を、全体で交流する。 「どんなすてきな音が見つけれられたか、音でみんなに伝えましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての弦を上下にすべらせてみたよ。 ・4本の弦をくり返し弾いてみたよ。 ・爪を使わず、指で弾いてみたよ。 ・〇〇さんの音、面白いね。真似してみよう。 ・リズムを細かくしたり速くしたりすると、感じが変わるね。 <p>4 グループで交流する。 「見つけた音を使って、友だちと会話してみましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの音に答えてみると、音楽になってきたよ。 ・だんだん速くしてくり返したら面白いね。 <p>5 次時の予告をする。 「次時は、見つけた音を使って、三人組で音楽をつくりましょう。」</p>	<p>○箏一面につき三人でいろいろと試すことを伝える。</p> <p>○爪の付け方、柱は動かさない、柱の右側で音を出すなど、最小限のルールを伝えるようにする。</p> <p>*自由に弦をはじいたり、全ての弦をすべらせてたり、左手で弦を押さえたりしていろいろ試すことにより、一つの楽器でも音の高さや演奏の仕方を変えることによって響き方が異なることに気付くようにする。</p> <p>*教師が「レ・レ・」と伴奏し、一人ひとりが演奏することで、それぞれが見つけた音のよさを聴き合うことができるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">*奏法による音色の違い、反復、リズム・旋律・速度の変化などを、箏を使っていろいろと試すことで、音をつくる面白さや楽しさに気付くことができるようにする。</div> <p>*友だちのつくった音をよく聴いて音で会話することで、音を音楽にすることができるようにする。</p> <p>*何グループか発表することで、つくった音楽のよさや面白さを全体で交流することができるようにする。</p> <p>*どのような音を見つけたのかを、学習カードに図や言葉で書き留めておくことで、次時に生かすことができるようにする。</p> <p>*鑑賞の活動で見つけた三パターンの構成(三つの音を重ねる、反復+主旋律+かざり、主旋律+二人で会話)を例示することにより、次時の活動の見通しをもつことができるようにする。</p>	<p>【ア-②】</p> <p>箏の響きや表現の表し方に興味・関心をもち、即興的な表現に進んで取り組もうとしている。</p> <p>(つくっている様子の観察・発言・学習カード)</p>

(3) 評価活動の実際

【音楽への関心・意欲・態度】(2/5時)

評価の視点とその具体の姿	
○評価の視点 【ア-②】 箏の響きや表現の表し方に興味・関心をもち、即興的に表現する学習に進んで取り組もうとしている。	
○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・様々な表現の表し方に気付くことができにくい子どもには、指導者による奏法のヒント(全ての弦をすべらせてみよう、左手で弦を押してみようなど)やグループの友だちの意見を参考にしたり、友だちのつくった音を聴いて真似たりするように助言する。	○質的に高まった状況 ・奏法による音色の違い、旋律・速度の変化などによって生み出されるよさや面白さを感じ取り、様々な音を出そうと積極的に試みている。 ・自分から進んで友だちに働きかけ、相手を意識して音を出そうとしている。
○具体的な評価方法 ・様々な表現の表し方に興味・関心をもち、いろいろと試しながら進んで取り組んでいるかどうかを、つくっている様子の観察・発言・学習カードから見取る。	

(4) 板書計画

箏のすてきな音を見つけよう。

箏の写真

箏の読み方

箏の音階
子どもたちが見つけた音(図や言葉で)

☆爪の付け方
 ☆柱は動かさない
 ☆柱の右側で音を出す

変奏1

三つの音を重ねる	
A	_____
B	_____
C	_____

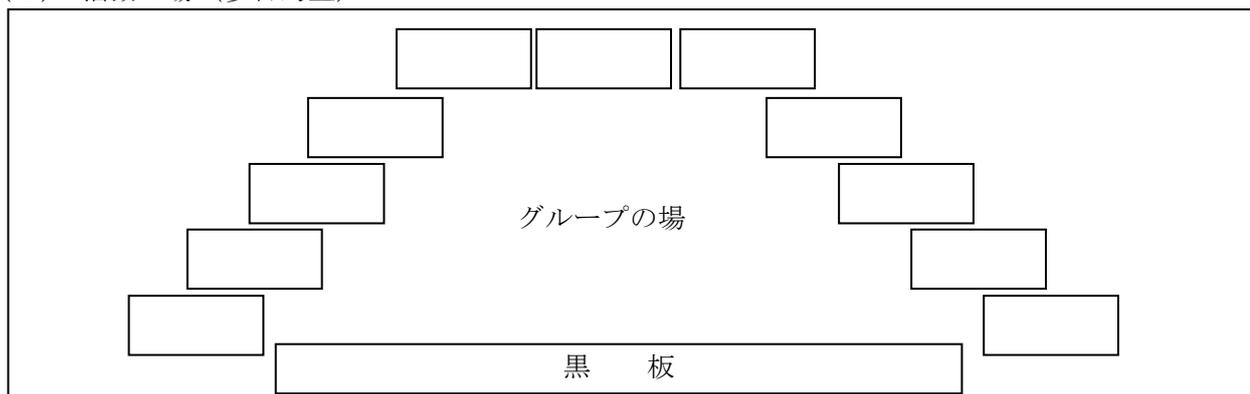
変奏3

反復+主旋律+かざり	
A	- - - -
B	_____
C	- - - - -

変奏5

主旋律+二人で会話	
A	— —
B	— —
C	_____

(5) 活動の場(多目的室)



1 1 本時の学習（3／5時）

(1) 目標 鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、簡単な旋律をつないだり、音を重ね合わせたりして工夫し、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもつ。

(2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起する。 「前時に見つけた音を確認しましょう。」</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時の学習を想起することにより、学習の見通しをもつことができるようにする。</p>	
<p>見つけた音を音楽にするために、どのような工夫をしたらよいだろう。</p>		
<p>3 音楽のつくり方の工夫について、全体で話し合う。 「見つけた音を音楽にするために、どのような工夫をしたらよいでしょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三つの音を重ねるとき、二つは少し弱くしてみてもいいね。 ・少しずつ速くしてみるのも面白いね。 ・会話するときは、一人が長めでもう一人は短くしてもいいね。 	<p>○鑑賞で学んだ音楽の仕組みや前時を想起し、三パターンの構成のうちどれにするかをグループで選ぶように伝える。</p> <p>*全体で工夫の仕方を確認することにより、グループ活動がスムーズにできるようにする。</p>	
<p>4 グループに分かれて音楽をつくる。 「グループに分かれているいろいろ試しながら音楽をつくりましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「主旋律+二人で会話」にしてみよう。 ・つなげるだけでは短いから、何回かくり返そう。 ・だんだん速くしてみると、もり上がる感じになりそう。 	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">*鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化などの音楽を形づくっている要素を聴き取り、そのよさを感じ取る力を生かすことにより、グループでどのような工夫をしたらよいか考え、音楽をつくることができるようにする。</p>	<p>【イー①】 鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、簡単な旋律をつないだり、音を重ね合わせたりして工夫し、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。</p>
<p>5 つくった音楽を何グループか発表し、全体で聴き合う。 「どのような工夫をしたのか聴き、どのように感じたのか交流しましょう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音で会話していたので、楽しい感じがしました。 ・だんだん速くなって、桜が風にゆれている感じがしました。 ・突然音が消えたのでびっくりしたけれど、また少しずつ音が聴こえてきて面白かったよ。 	<p>*つくった音楽がどのような感じに聴こえたかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。</p>	<p>(つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カード)</p>
<p>6 次時の予告をする。 「次時は、終わり方を考えて、つくった音楽を発表しましょう。」</p>	<p>○どのような工夫をしたのかを、学習カードに書くようにする。</p>	

(3) 評価活動の実際

【音楽表現の創意工夫】(3/5時)

評価の視点とその具体の姿	
<p>○評価の視点 【イー①】 鑑賞及び即興的に表現する学習で学んだ、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、簡単な旋律をつないだり、音を重ね合わせたりして工夫し、どのように音楽をつくるかについて、思いや意図をもっている。</p>	
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・どのような工夫をすればよいか理解しにくい子どもには、友だちの真似をしたり、板書や友だちの意見を参考にしたりして音楽をつくるように声かけをすることで、旋律をつないだり音を重ね合わせたりする面白さに気付くことができるようにする。</p>	<p>○質的に高まった状況 ・友だちの音をよく聴き、反復や変化など、様々な方法を積極的に試しながら、思いや意図をもって表現を工夫している。</p>
<p>○具体的な評価方法 ・簡単な旋律のつなぎ方、音の重ね方を工夫しているか、音楽のつくり方について自分の思いや意図をもって発言しているかどうかを、つくっている様子の観察・演奏の聴取・発言・学習カードから見取る。</p>	

(4) 板書計画

見つけた音を音楽にするために、どのような工夫をしたらよいだろう。

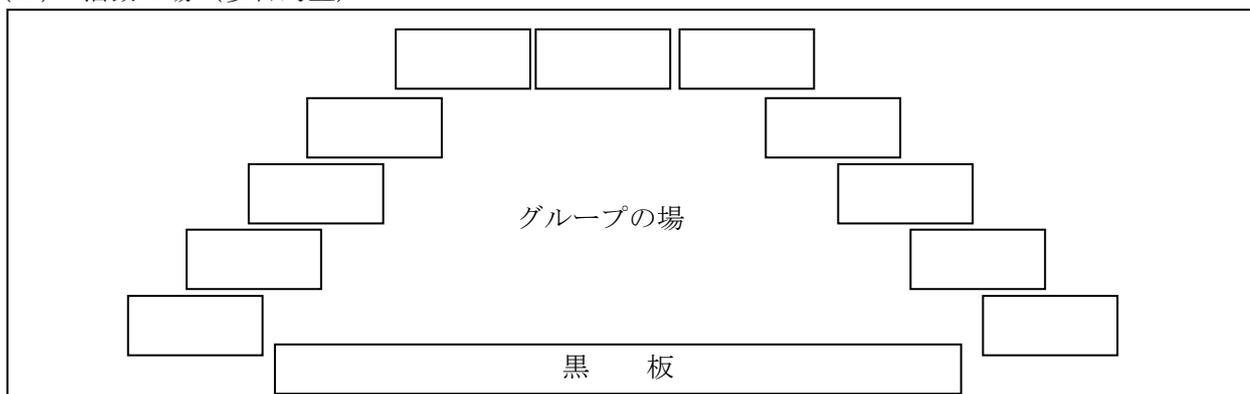
<p>変奏 1</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">三つの音を重ねる</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td>_____</td></tr> <tr><td>B</td><td>_____</td></tr> <tr><td>C</td><td>_____</td></tr> </table>	三つの音を重ねる		A	_____	B	_____	C	_____	<p>変奏 3</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">反復+主旋律+かざり</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td>- - -</td></tr> <tr><td>B</td><td>_____</td></tr> <tr><td>C</td><td>_____</td></tr> </table>	反復+主旋律+かざり		A	- - -	B	_____	C	_____	<p>変奏 5</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">主旋律+二人で会話</td></tr> <tr><td style="width: 20px;">A</td><td>— —</td></tr> <tr><td>B</td><td>— —</td></tr> <tr><td>C</td><td>_____</td></tr> </table>	主旋律+二人で会話		A	— —	B	— —	C	_____
三つの音を重ねる																										
A	_____																									
B	_____																									
C	_____																									
反復+主旋律+かざり																										
A	- - -																									
B	_____																									
C	_____																									
主旋律+二人で会話																										
A	— —																									
B	— —																									
C	_____																									

- ★強弱を変える
- ★速度を変える
- ★音の長さを変える
- ★何回かくり返す
- ★途中で音を消す

途中で音を消す	
A	— —
B	— —
C	— —

*考えた工夫は、必ず音を出して試してみよう。
*よいと思ったものを取り入れて音楽をつくろう。

(5) 活動の場 (多目的室)



1 1 本時の学習（4／5時）

- (1) 目標 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、反復・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくる。
 (2) 展開

学習活動 「 」発問 ・子どもの反応	*支援 ○留意点 ■本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
1 前時の学習を想起する。 「グループでつくった音楽を確認しましょう。」 2 本時のめあての確認をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 終わり方を考え、つくった音楽を発表しよう。 </div>	*前時の学習を想起することにより、学習の見通しをもつことができるようにする。	
3 終わり方の工夫について、全体で話し合う。 「終わる感じにするためには、終わり方をどのようにしたらよいでしょう。」 ・全員でいっせいに音を出して終わったらどうだろう。 ・少しずつゆっくりしよう。	*「さくら変奏曲」の終わり方を確認することにより、どのような工夫ができるかを考えることができるようにする。	
4 グループに分かれて練習する。 「発表に向けて、最後の練習をしましょう。」 ・もう少しくり返して、少しずつゆっくりにし、いっせいに終わってみよう。 ・二人で会話した後に一度止まってから音を出して終わろう。	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> *鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、反復・変化などの音楽の仕組みを生かすことにより、グループで音楽をつくることができるようにする。 </div>	【ウー①】 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、反復・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。(つくっている様子の観察・演奏の聴取・学習カード)
5 つくった音楽を発表し、全体で聴き合う。 「つくった音楽を発表しましょう。」 ・AとBの二人で会話を3回くり返します。途中から少しずつ速くしていったらだんだんゆっくりし、いっせいに終わるようにしました。聴いてください。 ・少しずつ速くしてだんだんゆっくりになったので、花が少しずつ咲いてしぼんでいく感じがしました。	*発表は録画・録音することにより、後で確かめることができるようにする。 *どのような工夫をしたのか、また、つくった音楽がどのような感じに聴こえたかを交流することにより、つくった音楽のよさを認め合うことができるようにする。	
6 次時の予告をする。 「次時は、もう一度『さくら変奏曲』を聴き、『変そう』を見つけましょう。」	○どのようなことに気を付けて音楽をつくったのか、また、他のグループの発表を聴いてどのようなことに気付いたのかなどについて、学習カードに書くようにする。	

(3) 評価活動の実際

【音楽表現の技能】(4/5時)

評価の視点とその具体的姿	
<p>○評価の視点 【ウー①】 鑑賞及び前時までの音楽づくりの活動で学んだ、反復・変化などの音楽の仕組みを生かし、音楽をつくっている。</p>	
↑	↓
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復・変化などの音楽の仕組みを生かしてつくることができにくい子どもには、板書を参考にしたり、友だちの意見を聞いて真似したりして、音楽をつくるように助言する。 	<p>○質的に高まった状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの音をよく聴き、反復や変化など、様々な方法を試しながら、まとまりのある音楽をつくっている。
<p>○具体的な評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復や変化などの音楽の仕組みを生かし、まとまりのある音楽として表現しているかどうかを、つくっている様子の観察・演奏の聴取・学習カードから見取る。 	

(4) 板書計画

終わりを考え、つくった音楽を発表しよう。

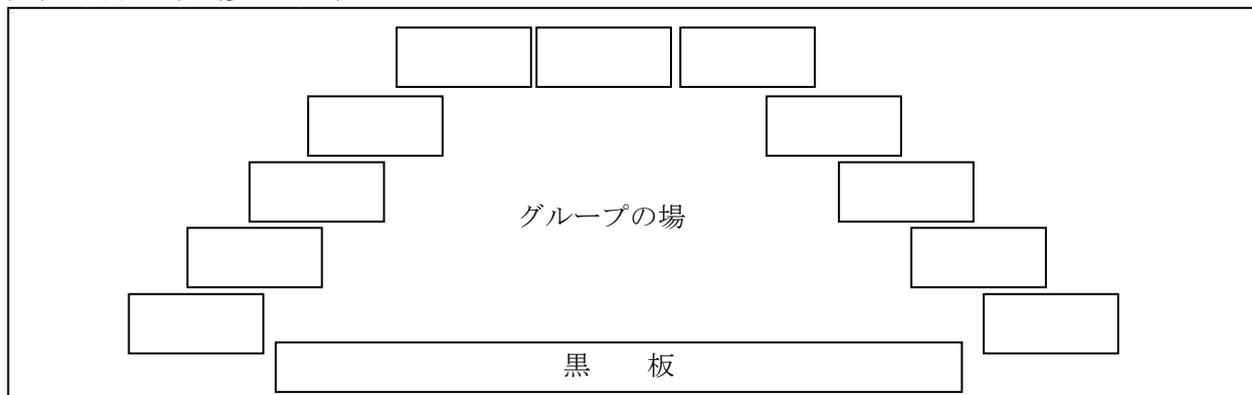
＜終わりの工夫＞

- ★全員でいっせいに音を出して終わる。
- ★少しずつ音を減らす。
- ★音を弱くする。
- ★少しずつゆっくりする。

発表の仕方

聴くポイント

(5) 活動の場 (多目的室)



1 1 本時の学習（5 / 5時）

- (1) 目標 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴く。
- (2) 展開

学習活動 「 」発問 ・児童の反応	*支援 ○留意点 本研究との関わり	評価の視点 (評価の方法)
<p>1 前時の学習を想起する。 「前時につくった、自分たちの音楽を視聴しましょう。」 ・グループで音楽をつくることができたね。</p> <p>2 本時のめあての確認をする。</p>	<p>*前時に録画したものを視聴することにより、自分たちのつくった音楽を確かめることができるようにする。</p>	
<p>「さくら変奏曲」の『変そう』を見つけ、曲の面白さを紹介しよう。</p>		
<p>3 もう一度第1時と同じ部分の「さくら変奏曲」を聴き、感じたことや気付いたことを話し合う。 「もう一度聴いて、感じたことや気付いたことを話し合いましょう。」 ・箏の音色がはっきりと聴き取れるようになったよ。 ・それぞれの変奏の違いがよくわかるね。</p>	<p>*第1時の板書や、第1時に書いた紹介文と比べることにより、音楽づくりの活動を通して身に付いた力を実感することができるようにする。 *グループで交流することにより、それぞれが気付いた曲のよさや面白さを確かめることができるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">*何回か曲を聴くことにより、音楽を形づくっている要素である音色・リズム・旋律・速度・反復・変化に気付くことができるようにする。</p>	
<p>5 紹介文を書き、曲の面白さを伝え合う。 「曲の面白さを紹介しましょう。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>(紹介文の例) 「さくら変奏曲」は、三つの箏で演奏されます。変奏1の部分は、「さくらさくら」と比べてにぎやかで、リズムが細かいです。私は変奏5の部分が好きです。なぜかという、速度がゆっくりで落ち着いた感じがするからです。また、全ての弦をすべらせて弾いているので、桜が少しずつ散っている感じがします。箏の日本らしい音色や、旋律・速度の変化を楽しんで聴いてください。</p> </div>	<p>*他の変奏部分も聴くことにより、同じように、反復、旋律・速度の変化などがあることに気付くことができるようにする。 *紹介文のヒントカードを提示することにより、書き方の参考になるようにする。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">*①使われている楽器、②音楽を形づくっている要素、③感じたことや想像したことなどをもとに紹介文を書くことにより、曲の特徴や演奏のよさを伝えることができるようにする。</p>	<p>【エー②】 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いている。 (聴いている様子の観察・発言・紹介文)</p>

(3) 評価活動の実際
【鑑賞の能力】(5 / 5時)

評価の視点とその具体の姿	
<p>○評価の視点 【エー②】 鑑賞及び音楽づくりの活動で培った力を生かし、曲想とその変化や、音色・リズム・旋律・速度・反復・変化の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付き、味わって聴いている。</p>	
<p>○支援が必要とされる子どもへの働きかけ ・紹介文に表すことができにくい子どもには、板書や第1時で書いた紹介文を参考に書いたり、変奏で一番好きなのはどの部分か、なぜそう思ったのかを考えて書いたりするように助言する。</p>	<p>○質的に高まった状況 ・変奏の音楽的な特徴を的確にとらえて、音楽を形づくっている要素と、その働きから想像したことや感じ取ったことを具体的に記述している。</p>
<p>○具体的な評価方法 ・曲想とその変化や、「音楽を形づくっている要素」の関わり合いから、想像したことや感じ取ったことを紹介文に表したり、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりしているかどうかを、聴いている様子の観察・発言・紹介文から見取る。</p>	

(4) 板書計画

「さくら変奏曲」の『変そう』を見つけ、曲の面白さを紹介しよう。

	感じたこと	気付いたこと
変奏1	「さくらさくら」と比べてにぎやか	楽器が増える
変奏3	しぶい感じ	低い音が続く
変奏5	ゆったりした感じ	速度がゆっくり

題材の学習の流れ

鑑賞 音楽づくり

(5) 活動の場 (教室)

